

# 2022年3月期 第1四半期 決算概要

2021年8月6日  
シスメックス株式会社

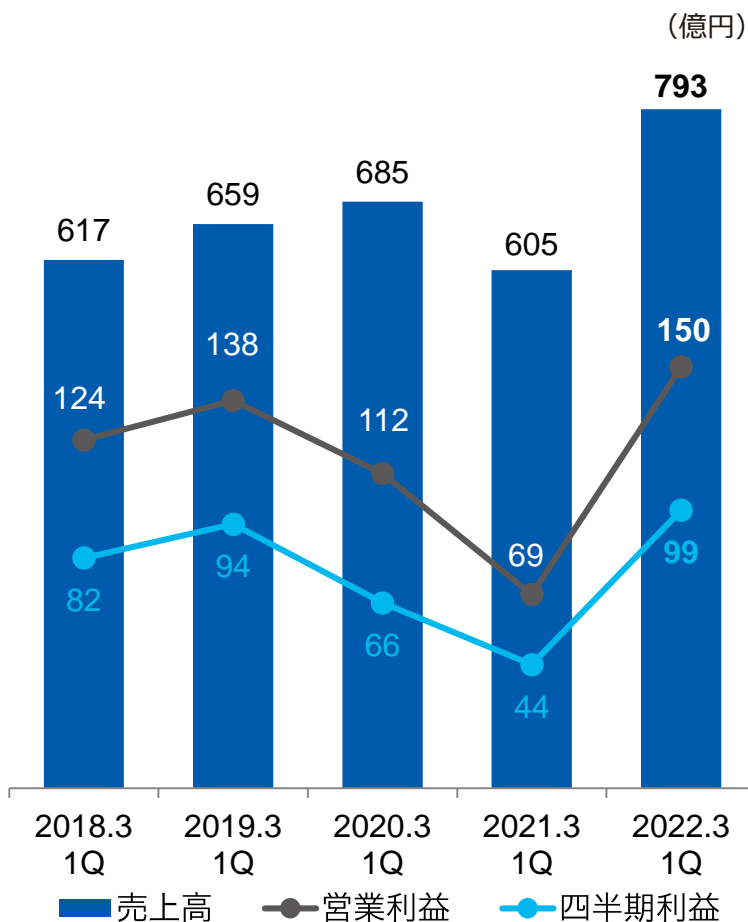
# Index

## 2022年3月期第1四半期 決算概要

当社グループは、2017年3月期より国際会計基準（IFRS）を適用し、IFRSに準拠して開示しております。

本資料のうち、売上予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

# 決算総括（対前年同期）

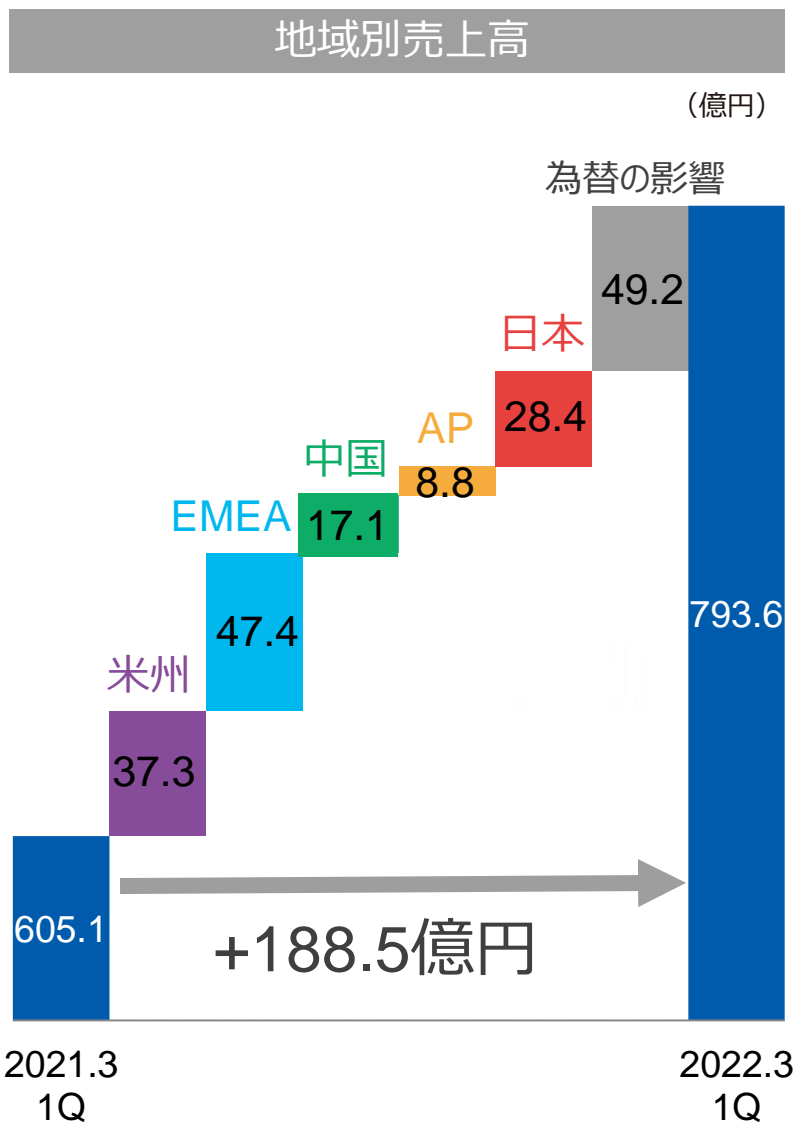


(億円)	2022年3月期 1Q		前年同期		前年同期比
	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	<b>793.6</b>	<b>100%</b>	605.1	100%	<b>131.2%</b>
売上原価	<b>374.7</b>	<b>47.2%</b>	298.8	49.4%	<b>125.4%</b>
販売費及び一般管理費	<b>215.0</b>	<b>27.1%</b>	189.2	31.3%	<b>113.6%</b>
研究開発費	<b>54.9</b>	<b>6.9%</b>	49.1	8.1%	<b>111.8%</b>
その他の営業損益	<b>1.6</b>	<b>0.2%</b>	1.7	0.3%	<b>92.4%</b>
営業利益	<b>150.5</b>	<b>19.0%</b>	69.5	11.5%	<b>216.3%</b>
親会社の所有者に帰属する四半期利益	<b>99.9</b>	<b>12.6%</b>	44.8	7.4%	<b>222.7%</b>

- **売上高** COVID-19影響からの回復に伴い、全地域で試薬売上増加および為替影響（円安）により、増収
- **営業利益** 販売・サービス活動の再開により販管費が増加するも、増収による粗利増加および原価率の改善により、増益
  - **為替の影響** 売上高 +49.2億円 営業利益 +3.7億円
  - **前年同期為替レート適用の場合** 売上高 123.0% 営業利益 211.0%
- **四半期利益** 営業利益の増加および為替差損益の寄与により、増益
  - **為替差損益** +2.5億円（前年同期+0.9億円）

	2022年3月期1Q	前年同期
1USD	<b>109.5円</b>	107.6円
1EUR	<b>132.0円</b>	118.5円
1CNY	<b>17.0円</b>	15.2円

# 売上高の増減要因（地域別）



検査需要が回復し、全地域において二桁伸長を達成

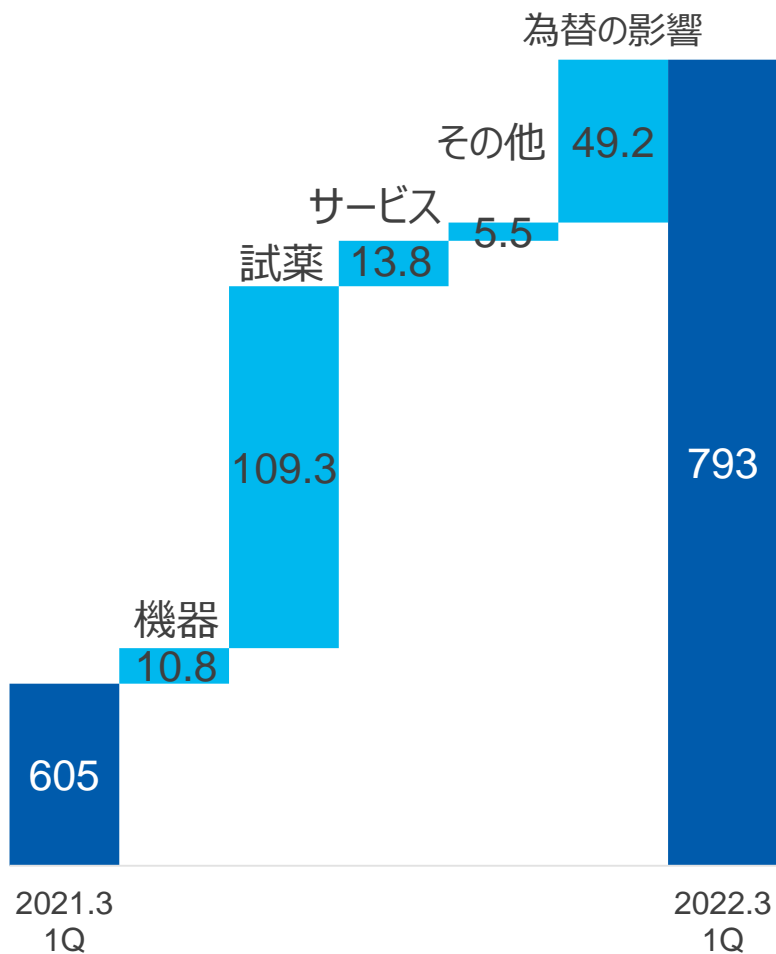
(億円)	2022年3月期 1Q		前年同期比	
	実績	構成比	円ベース	現地通貨ベース
売上高	793.6	100.0%	131.2%	123.0%*
米州	181.6	22.9%	129.9%	127.7%
EMEA	252.4	31.8%	138.6%	124.4%
中国	173.6	21.9%	125.4%	112.2%
AP	63.6	8.0%	124.9%	117.4%*
日本	122.2	15.4%	130.3%	-

※為替の影響を除いた円貨ベースの前年同期比伸長率

# 売上高の増減要因（品目別）

## 品目別売上高

(億円)



### ● 機器：

- 米国の納品遅延が段階的に解消、EMEAにおけるフランスおよび新たな直販エリアの売上伸長により、ヘマトロジー分野が伸長
- シーメンスとの協業による米国の尿分野が伸長
- 日本においてヘマトロジー・尿分野が前年同期から回復したことなどにより、伸長

### ● 試薬：

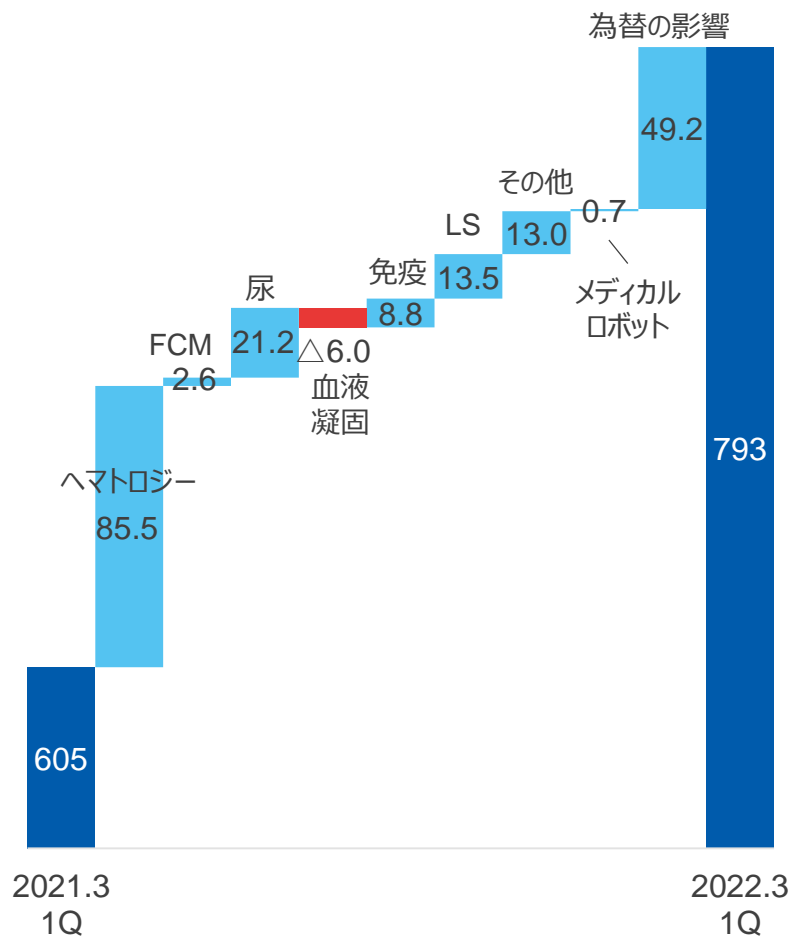
- 検査需要の回復により、ヘマトロジー・尿分野が二桁増収
- 日本、EMEAにおいてCOVID-19関連検査が伸長

(億円)	2022年3月期 1Q		前年同期比	
	実績	構成比	円ベース	現地通貨ベース
機器	190.1	24.0%	113.8%	106.4%
試薬	467.8	58.9%	142.2%	133.2%
サービス・その他	135.6	17.1%	124.5%	117.7%

# 売上高の増減要因（事業別）

## 事業別売上高

(億円)



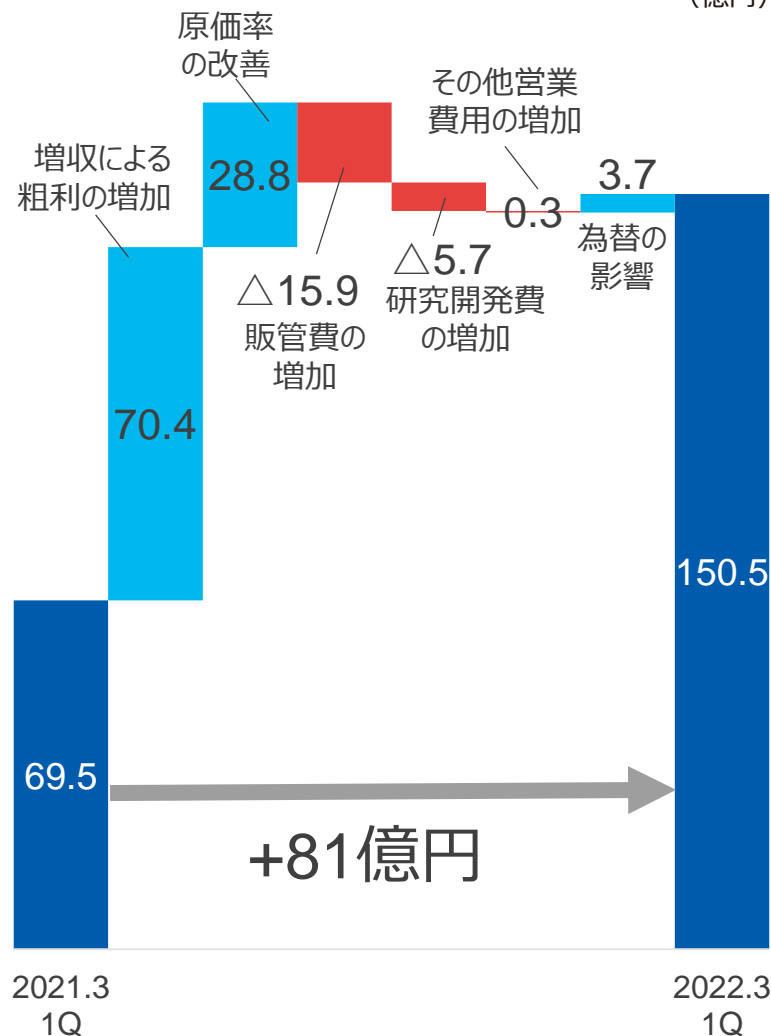
## 血液凝固分野を除き、各分野にて増収

(億円)	2022年3月期 1Q		前年同期比	
	実績	構成比	円ベース	現地通貨ベース
売上高	793.6	100.0%	131.2%	123.0%
ヘマトロジー	487.4	61.4%	130.6%	122.9%
FCM	4.7	0.6%	260.1%	241.5%
尿	60.4	7.6%	171.7%	160.1%
血液凝固	115.6	14.6%	101.6%	94.7%
免疫	36.1	4.6%	142.2%	134.7%
生化学	7.0	0.9%	114.4%	109.9%
ライフサイエンス	40.8	5.1%	166.6%	154.9%
その他	40.5	5.1%	162.9%	149.7%
ダイアグノスティクス事業	792.9	99.9%	131.0%	123.0%
メディカルロボット事業	0.7	0.1%	-	-

# 営業利益の増減要因

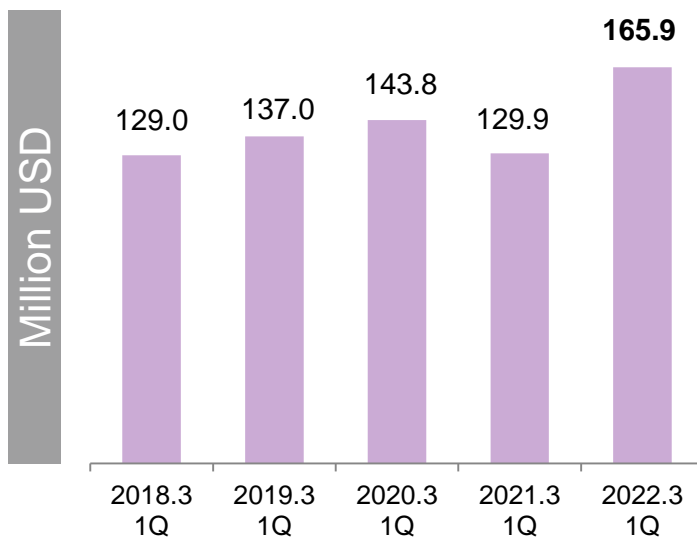
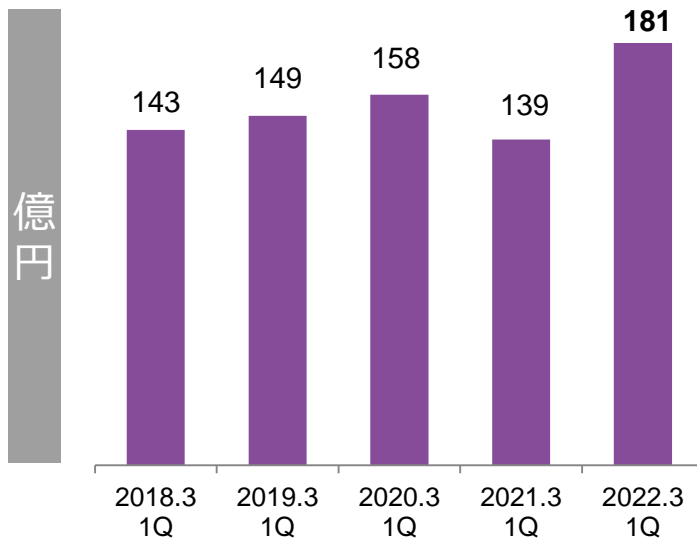
## 営業利益

(億円)



- 増収による粗利の増加：70.4億円
- 原価率改善による影響：28.8億円（3.9 pt 改善）
  - ・ プロダクトミックス（試薬売上構成比の増加）により、改善
  - ・ 原価率の低い製品の構成比増加により、改善
- 販売管理費の増加：15.9億円
  - ・ 販売・サービス活動再開および直販体制強化などによる経費の増加
  - ・ デジタル化関連費用の増加
- 研究開発費の増加：5.7億円
  - ・ 製品開発への継続投資および薬事関連費用による増加
- その他営業費用の増加：0.3億円
- 為替の影響：3.7億円のプラス影響

## 売上高



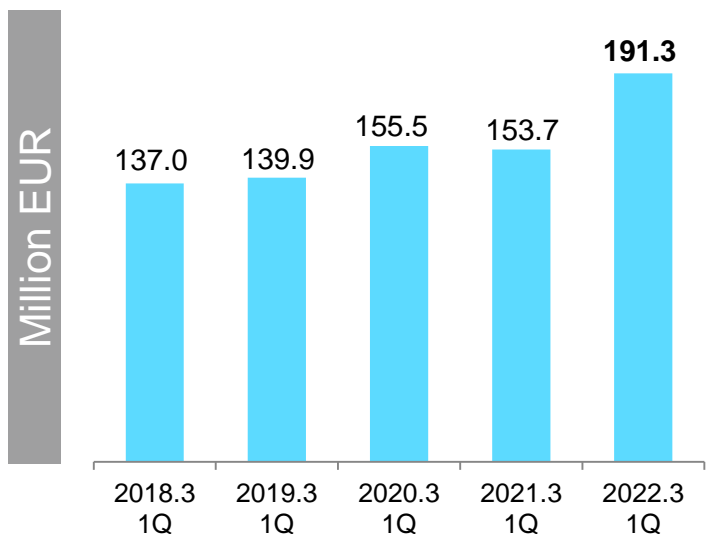
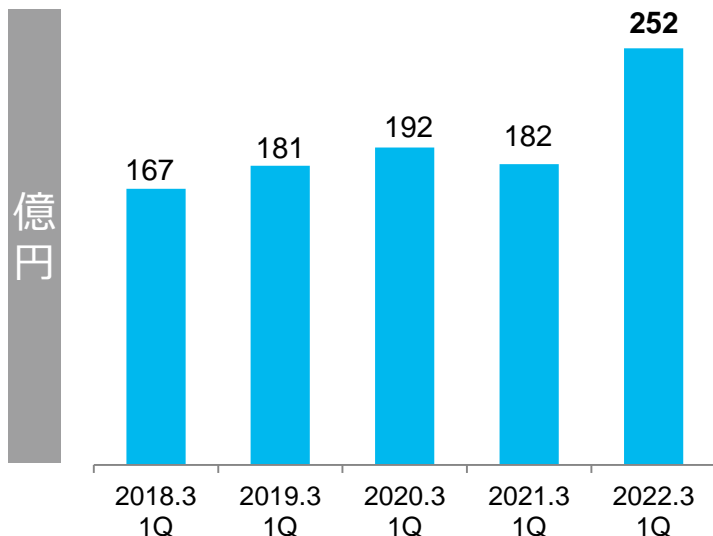
(億円)	2022年3月期 1Q	前年同期	前年同期比	
			円ベース	現地通貨ベース
売上高	<b>181.6</b>	139.7	<b>129.9%</b>	127.7%
機器	<b>47.9</b>	37.9	<b>126.3%</b>	124.1%
試薬	<b>81.9</b>	59.9	<b>136.7%</b>	134.3%
サービス・その他	<b>51.7</b>	41.8	<b>123.6%</b>	121.5%

経済活動の再開により、米国におけるヘマトロジー分野の検査需要回復や、尿分野の伸長もあり、増収

- 機器：主に米国において遅延していたヘマトロジー機器設置の進展や、シーメンスとの協業による尿分野の伸長により、増収
- 試薬：COVID-19影響の回復により、ヘマトロジー・尿分野が増収



## 売上高



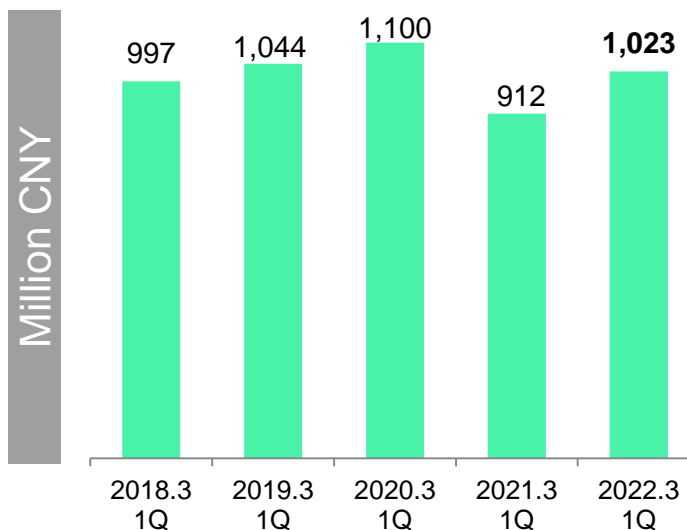
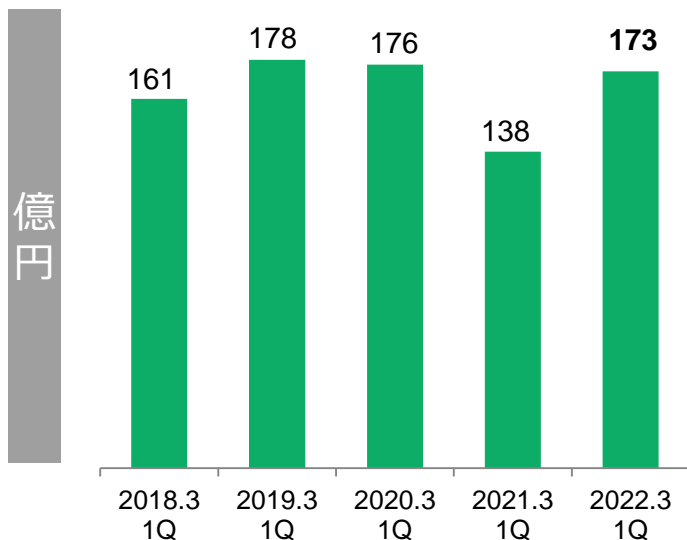
(億円)	2022年3月期 1Q	前年同期	前年同期比	
			円ベース	現地通貨ベース
売上高	<b>252.4</b>	182.1	<b>138.6%</b>	124.4%
機器	<b>68.6</b>	58.9	<b>116.4%</b>	104.5%
試薬	<b>144.6</b>	93.8	<b>154.2%</b>	138.5%
サービス・その他	<b>39.1</b>	29.3	<b>133.3%</b>	119.7%

### 機器売上が堅調に推移したことに加え、試薬売上が回復し、増収

- 機器：フランスや中欧・東欧においてヘマトロジー分野が伸長、ロシアの尿・血液凝固分野が好調に推移し、増収
- 試薬：ヘマトロジー分野における新たな直販エリアおよび検査センター向けの売上伸長に加え、尿・血液凝固分野が伸長し、増収

# 中国（地域別）

## 売上高

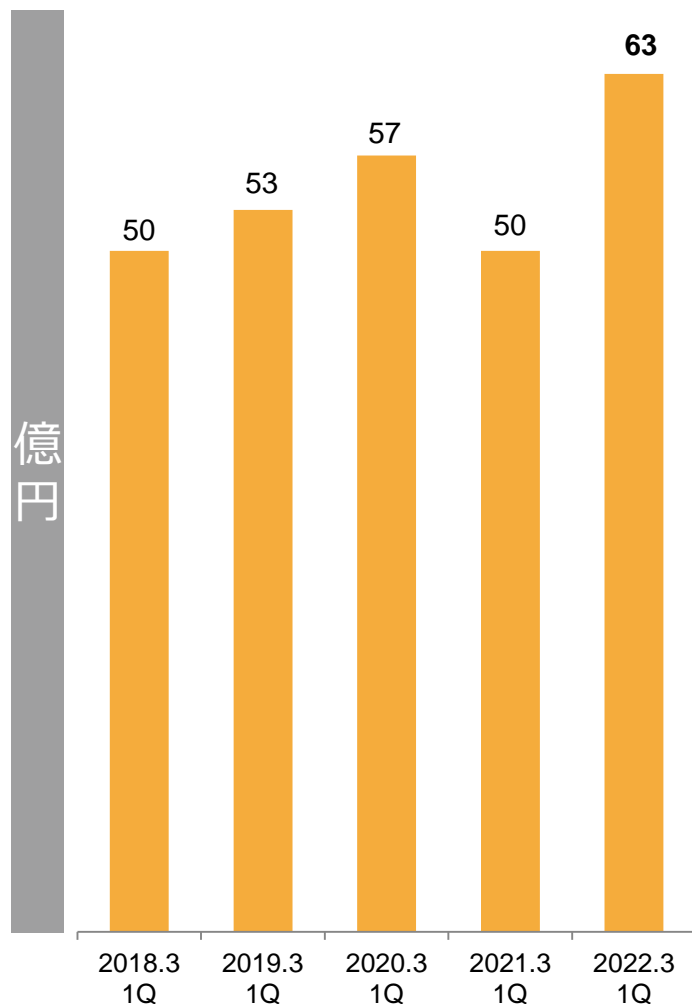


(億円)	2022年3月期 1Q	前年同期	前年同期比	
			円ベース	現地通貨ベース
売上高	<b>173.6</b>	138.4	<b>125.4%</b>	112.2%
機器	<b>45.7</b>	48.6	<b>94.0%</b>	84.1%
試薬	<b>107.9</b>	74.4	<b>145.0%</b>	129.7%
サービス・その他	<b>19.9</b>	15.3	<b>130.0%</b>	116.2%

### 前期の影響もあり、機器売上が減収するも、試薬売上が伸長し、増収

- 機器：ヘマトロジー分野は伸長するも、前年同期に需要が高かった免疫分野などの影響により、減収
- 試薬：COVID-19影響からの回復により、ヘマトロジー・尿・免疫分野などが好調に推移し、増収

## 売上高



(億円)	2022年3月期 1Q	前年同期	前年同期比 円ベース
売上高	<b>63.6</b>	50.9	<b>124.9%</b> (117.4%)
機器	<b>12.3</b>	13.0	<b>94.8%</b>
試薬	<b>45.6</b>	33.4	<b>136.5%</b>
サービス・その他	<b>5.6</b>	4.4	<b>126.2%</b>

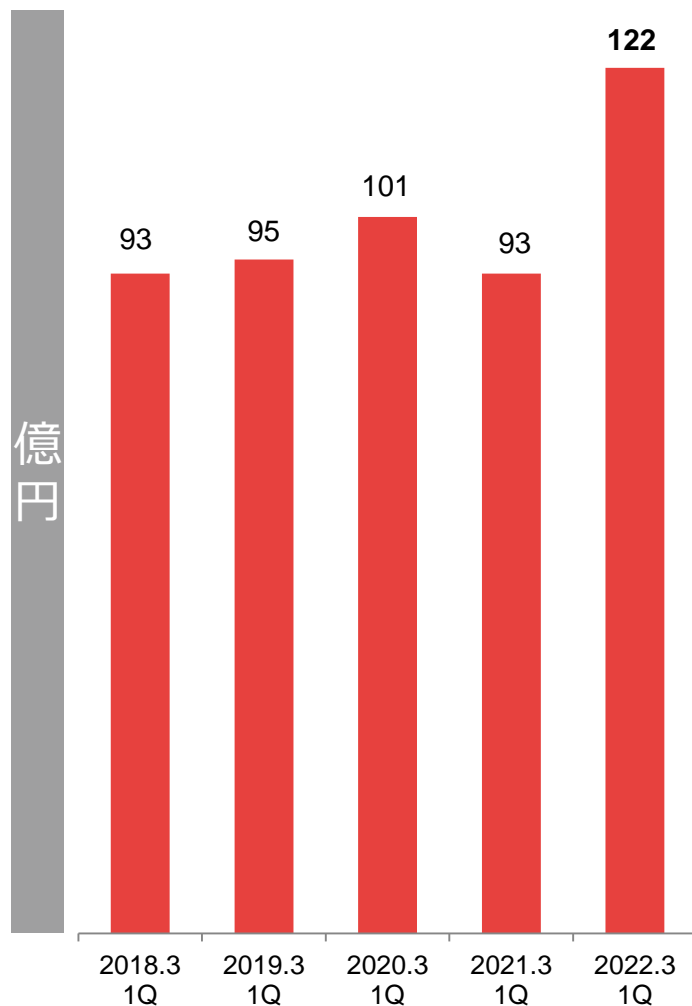
( )は為替の影響を除いた場合

### 機器売上が減収も、全分野において試薬売上が伸長し、増収

- 機器：尿・血液凝固分野は伸長するも、韓国、台湾において、感染再拡大によるヘマトロジー分野の受注遅延などもあり、減収
- 試薬：COVID-19の感染拡大は継続も、検査需要は増加し、全分野で増収

# 日本（地域別）

## 売上高



(億円)	2022年3月期 1Q	前年同期	前年同期比 円ベース
売上高	<b>122.2</b>	93.8	<b>130.3%</b>
ダイアグノスティクス事業	<b>121.5</b>	93.8	<b>129.6%</b>
機器	<b>15.1</b>	8.4	<b>178.1%</b>
試薬	<b>87.5</b>	67.4	<b>129.9%</b>
サービス・その他	<b>18.8</b>	17.9	<b>105.3%</b>
メディカルロボット事業	<b>0.7</b>	-	-

ヘマトロジー、尿分野を中心に売上が好調に推移したことに加え、COVID-19関連検査の需要もあり、増収

- 機器：COVID-19影響からの回復により、ヘマトロジー・尿・免疫分野が増収
- 試薬：COVID-19関連検査により、免疫・ライフサイエンス分野が伸長し、増収

## 2022年3月期 連結業績予想

売上高 **3,500億円**

営業利益 **600億円**

営業利益率 **17.1%**

親会社の所有者に帰属する当期利益 **400億円**

当期利益率 **11.4%**

### 投資計画

設備投資 **390億円**

減価償却費 **295億円**

研究開発費 **275億円**

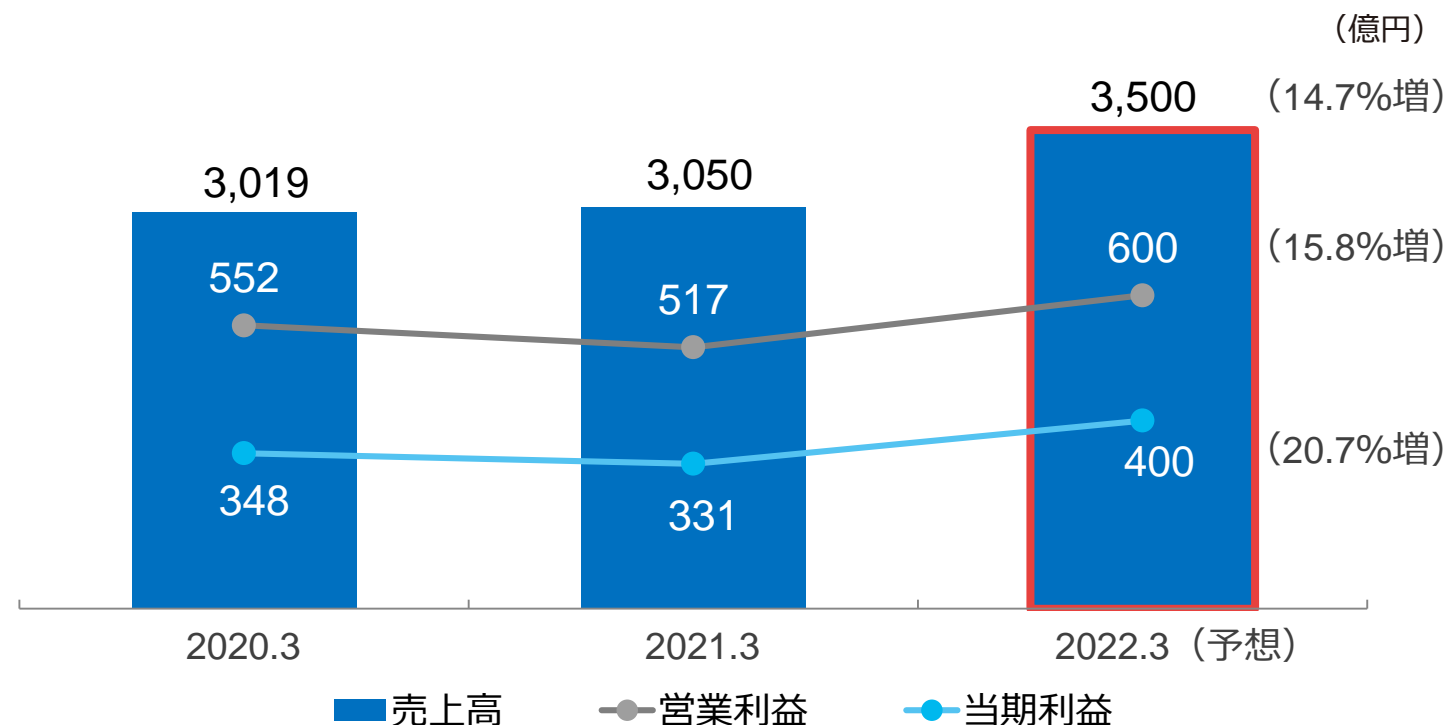
(有形、無形含む)

### ● 想定為替レート

	通期想定	前期実績 (21年3月期)
1 USD	106.0円	106.1円
1 EUR	125.0円	123.7円
1 CNY	16.0円	15.7円

### ● 為替感応度の概算値

	売上 (年間)	営業利益 (年間)
USD	6.8億円	1.8億円
EUR	5.1億円	1.6億円
CNY	58.8億円	45.3億円



(参考資料)

# 所在地別実績（売上高・営業利益）



(億円)

		2022年3月期 1Q	前年同期	前年同期比	
				円貨	現地通貨
米州	外部売上高	167.7	128.9	130.1%	127.9%
	営業利益	5.9	△4.0	-	-
EMEA	外部売上高	254.6	182.3	139.6%	125.4%
	営業利益	36.3	16.6	218.8%	196.5%
中国	外部売上高	173.4	138.0	125.6%	112.4%
	営業利益	19.4	2.8	675.6%	604.3%
AP	外部売上高	63.3	50.6	125.1%	-
	営業利益	6.9	2.8	244.0%	-
日本※	外部売上高	134.4	105.1	127.9%	-
	営業利益	114.9	61.9	185.5%	-

※IDEXX社等含む外部売上高

Lighting the way **with diagnostics**